

## 8月クイズ 全30問

Q1. 8月の昔ながらの呼び名(和風月名)は?

- ① 葉月(はづき)
- ② 師走(しわす)
- ③ 睦月(むつき)

ヒント:葉っぱの「葉」が入る

答え:① 葉月(はづき) 8月は葉月。葉が落ち始める頃という説など、由来には諸説あります。

Q2. 8月に多くの地域で行われる、ご先祖様を迎える行事は?

- ① お盆
- ② ひな祭り
- ③ 節分

ヒント:ご先祖様が帰ってくる

答え:① お盆 お盆。8月13~16日頃、ご先祖様の霊をお迎えして供養します。

Q3. 暑い夏の夜空を彩る、火薬で打ち上げる風物詩は?

- ① 花火
- ② こたつ
- ③ 雪だるま

ヒント:夜空にはっと開く

答え:① 花火 花火。夏の夜空を彩る風物詩で、各地で花火大会が開かれます。

Q4. 夏に食べると体が冷えて気持ちよい、赤くて種のある果物は?

- ① スイカ
- ② みかん
- ③ 焼きいも

ヒント:塩をかけて食べる人も

答え:① スイカ スイカ。水分が多く、暑い夏の水分補給にもぴったりの味覚です。

Q5. 夏の昼間、木にとまって「ミンミン」と鳴く虫は?

- ① セミ
- ② スズムシ
- ③ コオロギ

ヒント:夏の昼に大合唱

答え:① セミ セミ。夏の昼間に鳴き、種類によって鳴き声が異なります。

Q6. 8月15日は、戦争が終わったことを記念する何の日?

- ① 終戦記念日
- ② こどもの日
- ③ 海の日

ヒント:1945年のこの日

答え:① 終戦記念日 終戦記念日。1945年8月15日、戦争の終わりを伝える大切な日です。

Q7. 夏祭りで、やぐらを囲んでみんなで踊るのは?

- ① 盆踊り
- ② 運動会
- ③ かけっこ

ヒント:お盆の時期に踊る

答え:① 盆踊り 盆踊り。やぐらを囲み、太鼓や音頭に合わせて輪になって踊ります。

Q8. 暑さをやわらげるため軒先に吊るし、涼しい音を楽しむものは?

- ① 風鈴
- ② 鏡
- ③ 時計

ヒント:チリンと鳴る

答え:① 風鈴 風鈴。風に揺れてチリンと鳴る音で、涼を感じる夏の道具です。

Q9. 暦の上で秋が始まる、8月7日頃の日を何という?

- ① 立秋(りっしゅう)
- ② 立春
- ③ 冬至

ヒント:秋が「立つ」

答え:① 立秋(りっしゅう) 立秋。暦の上ではこの日から秋。以後の暑さは「残暑」と呼びます。

Q10. 夏の暑さに負けないよう、知人にあてて送るあいさつの便りは?

- ① 暑中見舞い
- ② 年賀状
- ③ 寒中見舞い

ヒント:暑い時期のおたより

答え:① 暑中見舞い 暑中見舞い。立秋を過ぎると「残暑見舞い」に変わります。

Q11. 8月に兵庫県で開かれる、高校球児の全国大会の通称は?

- ① 甲子園(こうしえん)
- ② 国立
- ③ ドーム

ヒント:兵庫県の有名な球場

答え:① 甲子園(こうしえん) 甲子園。夏の全国高校野球選手権が開かれ、球児が熱戦を繰り広げます。

Q12. お盆にナスやキュウリで作る、ご先祖様の乗り物を何という?

- ① 精霊馬(しょうりょううま)
- ② かかし
- ③ こけし

ヒント:キュウリは馬、ナスは牛

答え:① 精霊馬(しょうりょううま)

精霊馬。キュウリの馬で早く来て、ナスの牛でゆっくり帰る願いを込めます。

Q13. 「土用の丑の日」に食べる習慣がある、夏バテ予防の食べ物は？

- ① うなぎ
- ② そば
- ③ もち

ヒント:かば焼きが人気

答え:① うなぎ うなぎ。栄養豊富で、夏の暑さを乗り切る食べ物として親しまれます。

Q14. 夏の夜、光を放ちながら飛ぶ昆虫は？

- ① ホタル
- ② テントウムシ
- ③ カブトムシ

ヒント:お尻が光る

答え:① ホタル ホタル。きれいな水辺にすみ、初夏から夏に幻想的な光を放ちます。

Q15. 京都で8月16日、山に「大」の字を灯すお盆の伝統行事は？

- ① 五山送り火
- ② ねぶた
- ③ だんじり

ヒント:「大文字」とも呼ばれる

答え:① 五山送り火 五山送り火。お盆に帰った霊を送る、京都の夏の風物詩です。

Q16. 青森県で8月に行われる、大きな灯ろうを引き回す祭りは？

- ① ねぶた祭
- ② 阿波おどり
- ③ 雪まつり

ヒント:青森の夏といえば

答え:① ねぶた祭 ねぶた祭。勇壮な大灯ろうが街を練り歩く、東北を代表する夏祭りです。

Q17. 暑い日に庭や道路に水をまいて涼を取ることを何という？

- ① 打ち水
- ② 雪かき
- ③ 草むしり

ヒント:水をまいて涼しく

答え:① 打ち水 打ち水。水が蒸発する際に熱を奪い、辺りの気温を下げる昔の知恵です。

Q18. 夏に咲き、朝に花を開いてしぼむ、つる性の花は？

- ① アサガオ
- ② ツバキ
- ③ ウメ

ヒント:「朝」に咲く顔

答え:① アサガオ アサガオ。朝に咲き昼にはしぼむ、夏休みの観察でもおなじみの花です。

Q19. 徳島県で8月に行く、「踊る阿呆に見る阿呆」で知られる祭りは?

- ① 阿波おどり
- ② よさこい
- ③ 七夕まつり

ヒント:徳島の伝統的な盆踊り

答え:① 阿波おどり 阿波おどり。独特の掛け声とリズムで、徳島の夏を熱く盛り上げます。

Q20. 8月11日の、山に親しむことを目的とした国民の祝日は?

- ① 山の日
- ② 海の日
- ③ みどりの日

ヒント:海の日翌月

答え:① 山の日 山の日。2016年に始まった新しい祝日で、山の恵みに感謝します。

Q21. 「葉月」のほかにもある8月の別名はどれ?

- ① 月見月(つきみづき)
- ② 雪見月
- ③ 花見月

ヒント:お月見の季節へ向かう

答え:① 月見月(つきみづき) 月見月。秋へ向かい月が美しくなる時期にちなんだ8月の別名です。

Q22. 「残暑見舞い」を出すのは、暦の上でいつ以降?

- ① 立秋(8月7日頃)以降
- ② 8月31日以降
- ③ 7月1日以降

ヒント:暦の上で秋になってから

答え:① 立秋(8月7日頃)以降 立秋以降です。それ以前は「暑中見舞い」と呼び分けるのが習わしです。

Q23. 昔から夏の風物詩とされる「蚊帳(かや)」とは何のための道具?

- ① 蚊を防いで眠るため
- ② 魚をとるため
- ③ 米をふるうため

ヒント:寝るときに吊るす

答え:① 蚊を防いで眠るため 蚊帳です。寝床を覆って蚊を防ぐ、扇風機もない時代の夏の必需品でした。

Q24. スイカに塩をかけて食べると甘く感じるのはなぜ?

- ① 塩味との対比で甘みが引き立つから
- ② 塩が糖に変わるから
- ③ 冷たくなるから

ヒント:味の「対比」がポイント

答え:① 塩味との対比で甘みが引き立つから  
対比効果です。少しの塩味があると、甘みがより強く感じられます。

Q25. お盆の「迎え火」「送り火」は何のために焚くもの？

- ① ご先祖様の霊の目印にするため
- ② 虫よけのため
- ③ 料理のため

ヒント:霊が迷わないように

答え:① ご先祖様の霊の目印にするため 霊の目印です。迎え火で家へ案内し、送り火であの世へ送り出します。

Q26. 夏に親しまれる「ラジオ体操」が広まったのは、もともと何のため？

- ① 国民の健康増進
- ② 雨ごい
- ③ 火災予防

ヒント:みんなの「健康」のため

答え:① 国民の健康増進 健康増進です。昭和初めに始まり、夏休みの朝の習慣として親しまれました。

Q27. 「うちわ」と「扇子(せんす)」の大きな違いはどれ？

- ① 扇子は折りたためる
- ② うちわは折りたためる
- ③ 違いはない

ヒント:持ち運びやすいのは？

答え:① 扇子は折りたためる 扇子は折りたためます。うちわは折りたためない一枚仕立てです。

Q28. 花火の色は、主に何によって決まる？

- ① 含まれる金属(炎色反応)
- ② 打ち上げる高さ
- ③ 火薬の量

ヒント:金属が燃えるときの色

答え:① 含まれる金属(炎色反応) 金属の種類です。銅で青緑、ナトリウムで黄など、炎色反応で色がつきます。

Q29. お盆の語源「盂蘭盆会(うらぼんえ)」の意味に近いのは？

- ① 苦しみから救う供養
- ② 豊作を祝う祭り
- ③ 雨ごいの儀式

ヒント:ご先祖様を「救う」

答え:① 苦しみから救う供養 苦しみから救う供養の意。亡き人を偲び感謝する行事として続きます。

Q30. 日本で最も気温が高くなりやすいのは、一般に何月ごろ？

- ① 8月
- ② 5月
- ③ 10月

ヒント:まさに今の季節

答え:① 8月 8月です。梅雨明け後の強い日差しで、一年で最も暑さが厳しい時期です。